

学校研究

1 研究主題 『自ら考え 生き生きと表現する子』

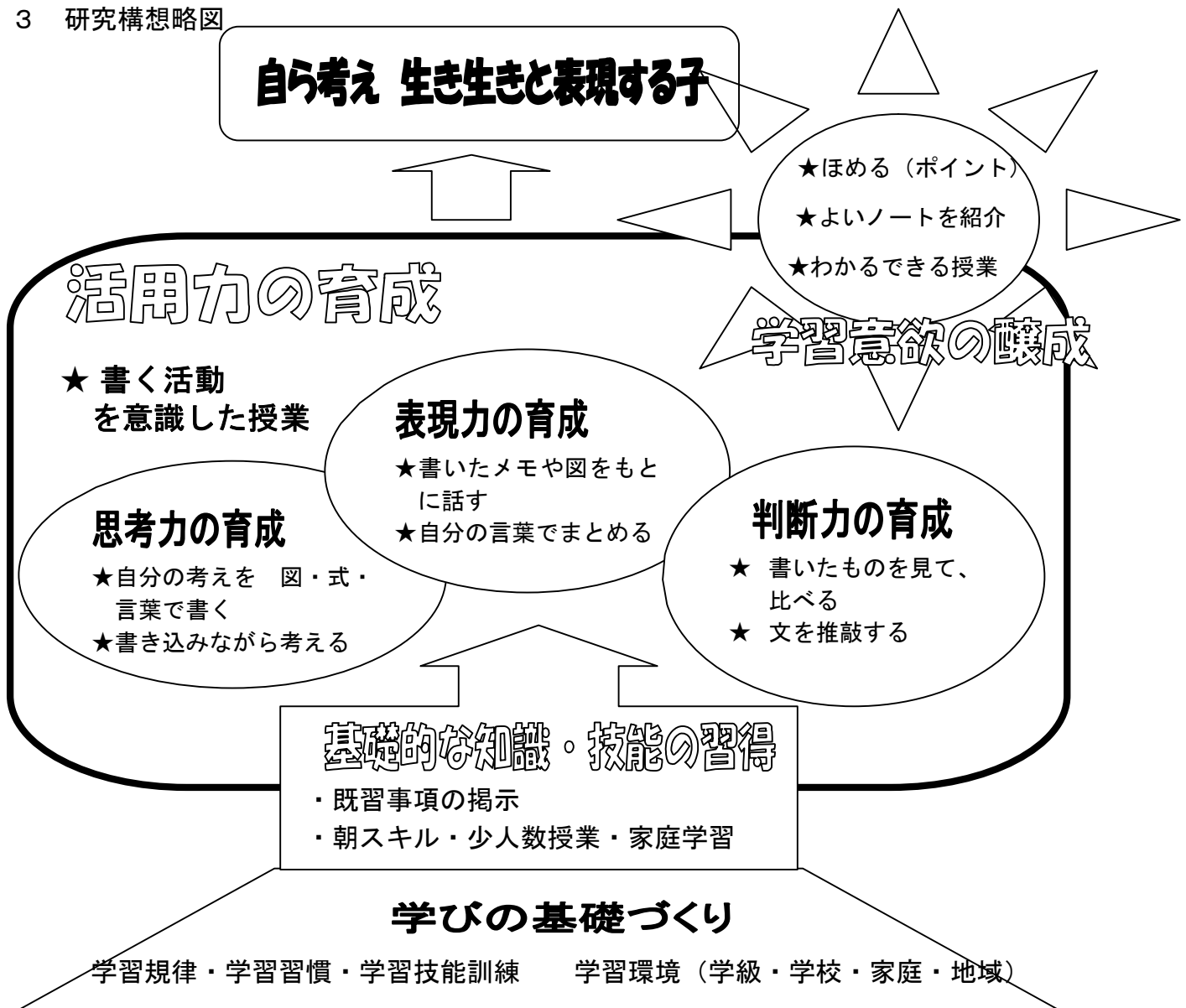
— 書く活動を通して —

2 主題設定の理由

本校では、これまで「朝自習での漢字や計算の反復学習」「個別指導」「習熟度別少人数授業」などのきめ細かな指導を通して、基礎・基本の定着を図ってきた。学力テストの結果を見ても、少しずつその成果が感じられる。しかし、身につけた基礎的な力を使って新たな課題に挑戦しようとしたり、話し合い学習活動において自分の考えや思いを表現してみようとしたりする意欲は、乏しい状態である。

子どもたちのこういった現状を踏まえ、研究主題を「自ら考え 生き生きと表現する子 —書く活動を通して—」と設定した。これまでの、基礎・基本を大切にする考え方を継承し、それを活用する力へとつなげるために、まずは、算数科と国語科を中心に進めていく。

3 研究構想略図



4 研究の具体的な実践方法

(1) 学びの基礎づくり

- ①学習規律の確立
 - ・学習の準備、授業中のルール
- ②学習習慣
 - ・家庭学習の習慣化… 低学年20分、中学年40分、高学年60分、
 - ・読書の習慣 … 本の手提げ、学級文庫の充実、図書室利用推進
- ③学習技能訓練
 - ・ノートの書き方、学習用具の使い方、音読、視写、聴写
- ④学習環境づくり
 - (学級) 温かな人間関係作り、正しい言葉遣い
 - (学校) 児童の成果の掲示・量感等の育成・表現の場の設定 (音読発表)
 - (家庭) 親子読書

(2) 基礎的な知識・技能の習得

- ①基礎学力の定着・・・朝スキル、家庭学習 (自学ノート)
- ②習熟度別少人数を生かした授業・・・個別指導

(3) 活用力の育成

- ①「書く活動」を意識した授業の積み重ね
 - ・思考の場面・判断の場面・発表の場面・まとめ・ふり返りの場面

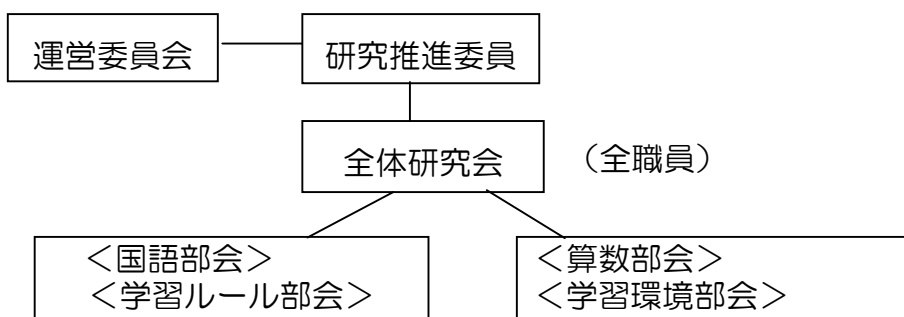
<国語科では>
教材文に書き込む。メモを取る。箇条書きにする。〇〇字でまとめる。
表にまとめる。発表用にまとめる。

<算数科では>
既習事項や気づきの中から、使えそうな内容を選んで書く。
言語、数、式、図、表、グラフなどの方法を選んで書く。
学習のまとめを自分の言葉で書く。
- ②「自ら考える」ことができる学習環境を整える
 - ・授業の進め方のパターン化
 - ・書くことへの手だて「5W1H (6つの言語意識)、書きはじめの言葉、言葉の表、ヒントカード」などを準備しておく。
 - ・既習事項の掲示
- ③「生き生きと表現する」場面を設定する
 - 日々の授業・集会・行事での発表の場面設定の工夫
- ④言語活動の充実
 - 朝自習の音読タイムで、日本語の美しさ面白さを味わえる題材を選ぶ

(4) 学習意欲の醸成

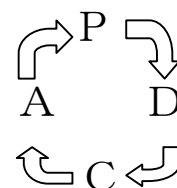
- ①よく書けているポイントをほめる（赤ペン、声かけ）
 - ・丁寧に書いている。 ・見やすく、わかりやすく書いている。
 - ・既習事項を使っている。 ・よい視点や気づきがある。
 - ・自分の言葉を使い、豊かな表現になっている。
- ②児童のよいノートの掲示、紹介
 - ・児童自身が「どう書けばよいのか」を理解する。

5 研究体制（研究組織）



(1) 「全体研」は、共通理解の場

- ①推進委員会からの提案・各部会からの提案
- ②学校研究のテーマについての研修 → 進む方向の検証
- ③全体研究授業の事前研及び整理会 → 授業と研究との関わり



(2) 「部会」は、具体的な実践についての話し合いの場

- ①授業改善 … 授業研究との関わり、授業の進め方の工夫（国語科、算数科）
- ②具体的な実践について考え、全体研で提案。共通理解の後、共通行動を推進。

(3) 研究授業計画

	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
主な日程	要請訪問 21日	A訪問 24日		指導案 検討		発表会 14日	B訪問 26日	
全体研授業	21日 算数	24日 国語						
各部会授業	国語 算数	国語 算数	国語 算数			国語6 算数5	算数1	